

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月20日

東京都知事 殿

提出者

住 所 東京都杉並区井草3-1-13

氏 名 大沢生コン株式会社

代表取締役社長 大澤ヒデ子

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3397-0111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大沢生コン株式会社
事業場の所在地	東京都杉並区井草3-1-13
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

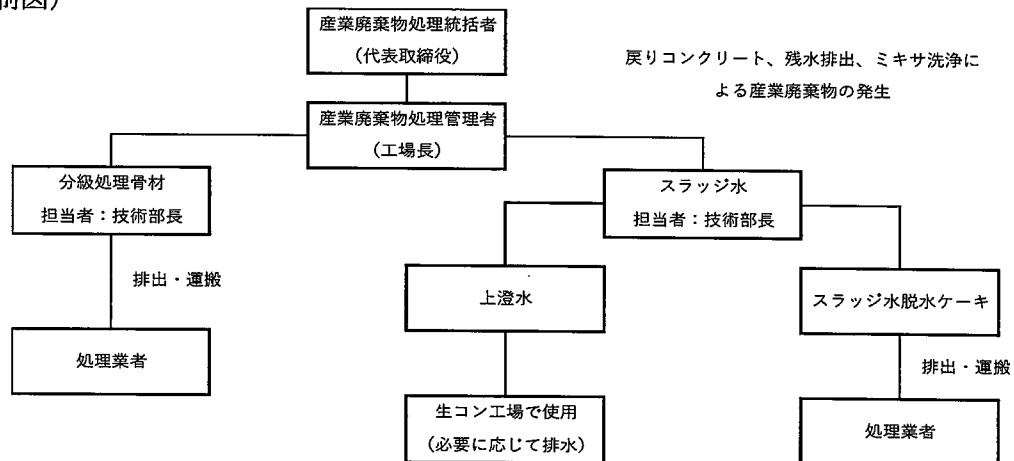
①事業の種類	製造業
②事業の規模	製造品出荷額 約15億9000万円
③従業員数	33人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	①スラッジ水→脱水ケーキ（脱水機による）→破碎→再生利用 ②回収骨材（砂、碎砂、碎石）→破碎→再生利用

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず
	排 出 量	2,890.00 t
(これまでに実施した取組)		
②計画	・残コンは廃棄物となるためユーザーに余らせないよう要請した。 ・車両の洗浄やミキサ洗浄で発生するスラッジ水は廃棄物となるため、最小限の車両の使用や洗浄水の節水を心掛けた。 ・回収水、回収骨材を主原料とする商品「スラモル」の出荷拡大を図り営業活動を行った。 ・規格を外れた場合は返品となり、廃棄物となるため品質管理を徹底した。	
	【目標】	
②計画	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず
	排 出 量	2,400.00 t
(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記取組の更なる実施。</li> <li>・ユーザーに戻りコンや残コンを減らす意識をしてもらうため戻りコンや残コンが発生した場合、有償化しユーザーに処理費を負担してもらう。</li> </ul>		

産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
①現状	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	
	自ら熱回収を行いう 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	
	全処理委託量	2,890.00 t	- t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	2,890.00 t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・残コンは廃棄物となるためユーザーに余らせないよう要請した。</li> <li>・車両の洗浄やミキサ洗浄で発生するスラッジ水は廃棄物となるため、最小限の車両の使用や洗浄水の節水を心掛けた。</li> <li>・回収水、回収骨材を主原料とする商品「スラモル」の出荷拡大を図り営業活動を行った。</li> <li>・規格を外れた場合は返品となり、廃棄物となるため品質管理を徹底した。</li> </ul>			

## (第5面)

【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず
	全処理委託量	2,400.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t
	再生利用業者への処理委託量	2,400.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t
(今後実施する予定の取組) ・上記取組の更なる実施。 ・ユーザーに戻りコンや残コンを減らす意識をしてもらうため戻りコンや残コンが発生した場合、有償化しユーザーに処理費を負担してもらう。		
※事務処理欄		